

6月定例教育委員会資料	
令和7年6月30日	
担 当 課	教育委員会文化財課

鳥取市歴史博物館常設展示（中世コーナー）の新規展示について

鳥取市歴史博物館（やまびこ館）は、天正9年（1581）の羽柴（のちの豊臣）秀吉の鳥取城兵糧攻めにおいて、秀吉が約100日間、陣頭指揮にあった太閤ヶ平（標高251mの本陣山の頂に所在）の登山口に立地しています。本館常設展示室の中世コーナーでは、天正9年鳥取城攻めの布陣を紹介した映像や模型などを用いて、当時の戦いの様子などを展示しているところです。この度、展示内容をよりわかりやすい形で伝えるため、次のとおり最新の調査成果の一部を展示パネルにして令和7年6月27日（金）から常設展示しています。

1. 新規展示内容について

①赤色立体地図

- ・経緯等 令和4年（2022）5月5日開催した鳥取城フォーラム2022において講師でお招きした城郭考古学者千田嘉博先生（名古屋市立大学教授）の助言に基づき、令和5年度から実施している測量成果である赤色立体地図の一部を展示します。赤色立体地図とは、航空レーザーシステムを搭載した航空機を用いて地形データを取得するものです。文化財課では、令和5年度から令和9年度ごろまで、鳥取城攻めに際して秀吉が築いた包囲網の内、当時の遺構が残っている可能性が高い丘陵を中心に測量調査を実施する予定です。
- ・展示内容 今回展示する区域は、令和5年度実施の測量対象面積5.6k㎡（事業費5,447千円：国2,773千円、県1,387千円、市1,387千円）のうち、鳥取城及び太閤ヶ平周辺の状況がわかる約4.5k㎡部分（縮尺1/3,000）。

②故香川元太郎作『鳥取城攻囲戦』（複製）

- ・経緯等 赤色立体地図で明らかになった地形について当時の戦いの様子を、より具体的に理解できるように歴史考証イラストレーター故香川元太郎先生が令和2年（2020）『歴史群像』No.161号で発表された『鳥取城攻囲戦』も併せて展示します。なお、香川先生は、昨年12月12日に心疾患のため急逝されました（享年65歳）。本作品は、秀吉が築いた全長約12kmに及ぶ包囲網の詳細な布陣の様子を描いているばかりではなく、遠く、大山、島根半島、隠岐諸島まで含めた広域な範囲を対象としており、香川先生が数多く描かれた城のイラストの中でも最も製作に苦勞された作品の一つです。
- ・展示内容 香川先生からご提供いただいた原画の複写データを展示します。

2. その他

上記の展示内容は、令和7年6月28日（土）、29日（日）に、くにびきメッセ（島根県松江市）で開催された『特別版お城 EXPO in 松江』で鳥取市及び鳥取市観光コンベンション協会が出展する「鳥取城・太閤ヶ平」ブースにおいても、展示しました。



①赤色立体地図



②故香川元太郎作『鳥取城攻囲戦』